

2019年5月29日

報道関係各位

EFPIA Japan（欧州製薬団体連合会）

## **EFPIA Japan患者団体支援プログラム「PASE」**

### **第3回PASE AWARD募集のご案内**

- 「疾患の予防、診断、治療において未だ解決されていない課題に対する  
患者団体としての活動」をテーマに -

EFPIA Japan（欧州製薬団体連合会）は、患者団体支援プログラム「PASE（Patient Advocacy Support by EFPIA Japan）」の一環として、第3回PASE AWARDを実施することをお知らせします。本年は、「疾患の予防、診断、治療において未だ解決されていない課題に対する患者団体としての活動」を応募テーマとし、患者団体による活動計画の募集を開始します。大賞受賞団体には、助成金50万円（最大2団体）を提供します。

第3回目となる本年は、患者さんがより良い生活を送れる社会にするため、予防、診断、治療における患者ニーズに対する解決策に焦点を当てることとし、前述の応募テーマを設定いたしました。EFPIA Japanは日本の患者団体活動の活性化を促し、患者さんの声が適切に医療制度に反映されることで、患者さんを取り巻く医療環境がより良いものに発展していくことを支援していきます。

## 第3回 PASE AWARD 応募要項

### ■ 応募テーマ：「疾患の予防、診断、治療において未だ解決されていない課題に対する患者団体としての活動」

患者さんがより良い生活を送れる社会にするため、予防、診断、治療における患者ニーズに対する解決策に焦点を当てた活動計画を募集します。

### ■ 応募要項

#### 1. 応募資格：

- ① 日本の患者さんを対象として活動している患者団体であること
- ② 社団法人、財団法人、NPO 法人など、正式に登録された非営利団体であること

#### 2. 選定基準：

- ① 患者団体として明確な目的を持ち、目標（成果指標）を明確にしていること
- ② 過去の活動において目的達成に向けた具体的な成果を示していること
- ③ 助成金を用いる活動の具体的な実施計画を持っていること（助成金の利用方法を含む）
- ④ 助成金を用いた活動の結果の周知等に協力できること（EFPIA Japan ウェブサイト掲載の許可、団体自身のウェブサイト等での告知および報告）

#### 3. 採択団体に求められる事項：

- ① EFPIA Day における授与式に登壇すること（東京都内にて 2019 年 9 月 24 日に開催予定。メディアによる取材及びスケジュール変更の可能性があります。）
- ② 2020 年 6 月末までに助成金を用いた活動を実施すること
- ③ 2020 年 10 月末までに活動実施報告書（A4 用紙 2 枚）を EFPIA Japan 事務局に提出すること

#### 4. 助成金の用途：

明確な実施計画を有するプロジェクトに用いていただく必要があります。個人への現金の供与、団体の運転資金への補填等には利用できません。

#### 5. 応募方法：

- ① 下記の事項を応募用紙（自由書式）に記載の上、PDF フォーマットにて EFPIA Japan 事務局（[info@efpia.jp](mailto:info@efpia.jp)）宛てに 2019 年 7 月 12 日までにご送付ください。

#### 6. お問い合わせ先：

EFPIA Japan 事務局（[info@efpia.jp](mailto:info@efpia.jp)）

**■ 応募用紙の記載事項**

1. 団体に関する情報：
  - ① 団体名（英語及び日本語）
  - ② ウェブサイト URL
  - ③ 担当者名（E メールアドレス及び電話番号）
  - ④ 役員名簿
  - ⑤ 定款
  - ⑥ 登記簿の写し
  - ⑦ 前年の収支報告書の写し
2. 小論文（1,500 字程度、以下の 2 点について記述）：
  - ① 団体が実施した過去の活動とその具体的な成果（患者さんへの献身及び貢献を示すもの）
  - ② 助成金を用いる活動の目的と実施計画（助成金の利用方法を含む）

**■ 審査方法**

1. 小論文の内容に基づき、EFPIA Japan アクセス委員会が上位 5 団体を選出。
2. 上位 5 団体は、8 月末開催予定の最終選考会に出席し、EFPIA Japan 最終選考メンバーに対するプレゼンテーション（小論文内容）\*を実施  
\*プレゼンテーション時間は 5 分間として、パワーポイントスライド 3 枚までを使用可とする。発表言語は、日本語もしくは英語とする。最終選考メンバーとの QA を 5 分とり、一団体につき合計 10 分間で選考を行う。
3. 実施活動の社会へのインパクト、患者さんの生活への影響、活動への熱意、およびプレゼンテーション（要点の明瞭性、タイムマネジメント、わかりやすさ等）や理事からの質問への回答等を考慮し、採択する団体を最大 2 団体決定する。大賞については 1 団体につき連続 2 回までの受賞を上限とする。
4. 採択された最大 2 団体は、EFPIA Day 授与式に出席し、メディアに対して採択時のプレゼンテーションを行う。

**■ 採択後の手続き**

1. 審査結果の通知：  
合格した応募団体に 2019 年 9 月 3 日までに直接お知らせし、後日、EFPIA Japan ウェブサイトに掲載させていただきます。
2. 助成金の授与：  
金融機関口座振込により送金いたします。

###

## EFPIA Japan 患者団体支援プログラム「PASE」について

EFPIA Japan は、患者さんと協働を通じて、患者さんのニーズや政策提言を社会に発信する機会と活動をサポートしています。「PASE (Patient Advocacy Support by EFPIA Japan)」は、EFPIA Japan の患者中心志向を具体化する患者団体支援プログラムです。PASE は日本の患者団体活動の活性化を促し、患者さんの声が適切に医療制度に反映されることで、患者さんを取り巻く医療環境がより良いものに発展していくことを支援していきます。

## PASE AWARD について

PASE AWARD は、EFPIA Japan の患者中心志向をより直接的に患者団体に還元し、日本の患者アドボカシーの発展に寄与するために、2017 年に設立されました。昨年実施した第 2 回 PASE AWARD では、「日本全体の医療への貢献」、「疾患自体や関連する対応策の啓発有無」、「過去の活動実績と比較して、提案されている活動の新規性」、「計画の実行可能性」、「提案内容内で占める PASE 助成金の重要度」の 5 つの評価項目に基づき応募団体の活動を選考し、応募 17 団体から選出された大賞 2 団体と健闘賞 3 団体に対して、総額 145 万円を提供しました。詳細はリンクをご参照ください。

[http://efpia.jp/link/181015\\_2nd\\_PASE\\_AWARD.pdf](http://efpia.jp/link/181015_2nd_PASE_AWARD.pdf)

## 欧州製薬団体連合会 (EFPIA Japan)について

2002 年 4 月に設立された EFPIA Japan には、日本で事業展開している欧州の研究開発志向の製薬企業 24 社が加盟しています。2016 年の加盟各社の総売上高は、日本の製薬市場の売上の約 22%を占めています。EFPIA Japan の使命は、“革新的な医薬品・ワクチンの早期導入を通じて、日本の医療と患者さんに貢献する” ことです。EFPIA Japan は日本の医療向上に向けて政策決定者との対話を強化することを目指しています。

## お問い合わせ先：

藤田 均

EFPIA Japan 広報委員会 PASE 担当

〒105-6333 東京都港区虎ノ門 1-23-1

虎ノ門ヒルズ森タワー

ノバルティス ファーマ株式会社

TEL: 090-9837-4326

Mail : hitoshi.fujita@novartis.com

岡田 美紀

EFPIA Japan アクセス委員会 PASE 担当

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-8-1

赤坂インターシティ AIR

グラクソ・スミスクライン株式会社

TEL: 070-3543-2224

Mail : miki.x.okada@gsk.com

###